

## 世界を見据えて、 目指すは、 グランプリ ファイナル優勝



鍵山優真

ログラムの演技を見ていて感動した。優勝という結果も当然ながら、見るものに感動を与える演技の素晴らしさに驚きを感じてしまった。弾みをつけ、臨んだ今季初戦の世界戦、世界のライバルも多く出場する中、見事に優勝の栄冠を獲得し、さらにフランスの地元新聞にも絶賛の記事が載るほどの戦いであった。国内で応援している私たちは時差と闘いながら、インターネットのリザルトの配信とYouTubeでの映像配信を見ながら応援していた。世界

で戦うということはこれなんだと別の意味で感じることができた。横浜銀行アイスアリーナを練習の拠点としていることから、早朝や夕方、全日本の練習会、高体連練習会、個人の練習や学業と大変な日々を送っているが、鍵山にとってやはり父の存在は大きいと感じている。

2大会の冬季オリンピックに出場し、日本人で初めて4回転を跳んだトッパスリートの存在なくして鍵山優真は語れないのかもしれない。父正和氏が直接指導を行っており、ジュニアの中では世界が最も近い選手の一人であり、国内にもライバルは多い中で着実に力をつけているように感じる。世代を超え国内でもトップアスリートを目指して全日本や2022の北京での活躍を大いに期待している。

年内にもう1戦、世界ジュニアグランプリの出場が決まっており、成績によって翌年のグランプリファイナルの出場が決まる。また、メダルを持って登校してくれることを望んでいる。

世界の鍵山優真!! そして世界に星槎が伝わることに期待しています。皆さんも今後の鍵山優真の活躍を応援してください。よろしくお願います。

(星槎国際横浜鴨居センター長 松下清喜)



念願の明治神宮野球場での開会式

## 星槎国際広島軟式野球部 全国ベスト8!

今年、広島学習センターの軟式野球部は、念願の全国大会へ出場した。1回戦は長野県の松本筑摩高等学校との試合であった。前の試合が延びて開始時間が2時間ほど遅れたが、部員たちは気持ちを切り直すことなく、試合に臨むことができた。試合は西祥希の本塁打や恵飛須公平の二塁打もあり、13-1、5回コールドで勝利した。攻撃面が目立ったが、無失策だったことが非常に良かった。2回戦は香川県の丸亀高等学校との試合だった。前日に快勝したこともあり、部員たちは非常にリラックスをして試合に臨

今年、広島学習センターの軟式野球部は、念願の全国大会へ出場した。1回戦は長野県の松本筑摩高等学校との試合であった。前の試合が延びて開始時間が2時間ほど遅れたが、部員たちは気持ちを切り直すことなく、試合に臨むことができた。試合は西祥希の本塁打や恵飛須公平の二塁打もあり、13-1、5回コールドで勝利した。攻撃面が目立ったが、無失策だったことが非常に良かった。2回戦は香川県の丸亀高等学校との試合だった。前日に快勝したこともあり、部員たちは非常にリラックスをして試合に臨

今年、広島学習センターの軟式野球部は、念願の全国大会へ出場した。1回戦は長野県の松本筑摩高等学校との試合であった。前の試合が延びて開始時間が2時間ほど遅れたが、部員たちは気持ちを切り直すことなく、試合に臨むことができた。試合は西祥希の本塁打や恵飛須公平の二塁打もあり、13-1、5回コールドで勝利した。攻撃面が目立ったが、無失策だったことが非常に良かった。2回戦は香川県の丸亀高等学校との試合だった。前日に快勝したこともあり、部員たちは非常にリラックスをして試合に臨

今年、広島学習センターの軟式野球部は、念願の全国大会へ出場した。1回戦は長野県の松本筑摩高等学校との試合であった。前の試合が延びて開始時間が2時間ほど遅れたが、部員たちは気持ちを切り直すことなく、試合に臨むことができた。試合は西祥希の本塁打や恵飛須公平の二塁打もあり、13-1、5回コールドで勝利した。攻撃面が目立ったが、無失策だったことが非常に良かった。2回戦は香川県の丸亀高等学校との試合だった。前日に快勝したこともあり、部員たちは非常にリラックスをして試合に臨

(星槎国際広島軟式野球部 顧問 三戸佑太)



大崎風和里

## 圧倒的な強さで全国を制す 初出場 初優勝

令和元年度8月6日(火)〜8日(木)、駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場において

「第52回 全国高等学校定時制通信制体育大会 卓球大会」が開催された。女子個人の部では、星槎国際

立川の大崎風和里が初出場、初優勝を果たした。東京都の予選から圧倒的な強さで勝ち上がり、全体を通して試合中にも笑顔が見られ、危なげない試合が続いていた。日ごろの練習の成果や今までの経験がわかる試合展開であり、予選から全国大会の決勝までを通して落としたセットはわずか1セットだけであった。大崎は、星槎国際立川の入学時の面接で卓球個人の全国大会に出場すると話してくれており、実際に全国大会に出場するだけでなく全国制覇を達

成できたことは素晴らしいことだ。2年生ということもあり、次年度はマークがきつくなると予想されるが、普段の練習量と勝負強さで、ぜひ2連覇を目指して欲しい。全国の多くの皆様から応援の声をいただき、嬉しく思います。今後も大崎風和里の応援よろしくお願いします。(星槎国際立川 センター長 山下峻)

東京都の予選で優勝した時、先生方からたくさん「おめでとう」と言ってもらえました。そして全国大会での活躍に期待してくれていた。私は、先生たちの期待に応えられるよう、練習に励み、全国大会で優勝することを目標に頑張りました。(2年 大崎風和里)

## 全国大会 剣道女子個人 3位に輝く



前田侑香(右)

昨年度全国大会3位という成績で、極度のプレッシャーを与えられ続けてきた。今年も全国大会出場が決まった際、そのプレッシャーはさらに激しく、私の中でも今年が最後という特別な感覚があり、高揚感も増えた。剣道の練習は欠かさず、部員たちと切磋琢磨してきた。地元で幼少期からお世話になっている剣道クラブの先生から、「お前なら大丈夫。自信を持ちなさい」と言葉を頂き、胸に秘めたる力を迎えた。シード2回戦は1回戦を勝ち抜いた兵庫県の選手。技の出し方がとても苦手なタイプ。だが、ここで負ける訳には行かない。2本勝ちして3回戦へ。相手は北信越大会で昨年戦った新潟県の選手だ。危なげながら1本勝ち。

(星槎国際福井 3年 前田侑香)



未来に向けて  
スポーツを超え

## ブータン王国柔道 世界柔道選手権 初出場

第37回 世界柔道選手権大会(世界柔道)が8月25日から9月1日に渡り、無差別を除いた男女7階級の個人戦と男女混合の団体戦が2020年東京オリンピック・パラリンピックと同じ会場の日本武道館で開催された。

9年ぶり6度目となった。本大会は東京オリンピックテスト大会と位置付けられており、国際柔道連盟の公式発表によると、大会には149ヶ国から860名の選手が出場した。世界柔道は、日本のオリンピック代表候補選手も出場する世界最高峰の大会であり、実力的にはまだまだのブータン

の柔道家達が、星槎グループのサポートもあり大会初出場を実現することができた。

【出場選手】  
60kg級 Ngawang Namgyel  
(ブータン柔道協会)  
66kg級 Kinley Tshering  
(星槎道都大1年)  
73kg級 Tandin Wangchuk  
(星槎道都大1年)

初日に行われた60キロ級にブータンから来日したガワン選手が出場した。ブルガリアのランキング49位の選手と戦い善戦したが技ありを取られ敗退。2日目に行われた66キロ級に出場したキンレイ選手はハイチのランキング

238位の選手に果敢に挑んだが技ありを取られ敗退。3日目に行われた73キロ級のタンディン選手は、サウジアラビアのランキング170位の選



73キロ級タンディン選手(左)、60キロ級ガワン選手(中)、66キロ級キンレイ選手(右)

のスポーツ史の1ページを刻むことはできた。そして何より3選手は世界を知り、体感することができたことが必ず今後の彼らの成長にかけがえのないものになることは間違いない。

ブータン柔道協会(BJA: Bhutan Judo Association)は2010年にブータン最初の柔道クラブとして発足。2013年からベルキル私立高等学校の柔道クラブがブータン柔道協会も兼ねている。

現在、ティンプー各地から多くの子ども達が練習に参加し、BJAには約140人の柔道家が所属。2016年、国際柔道連盟(IJF)アジア柔道連盟(JUA)の加盟が承認された。

## 星槎国際湘南女子サッカー部

### 近況報告

昨年は全国優勝をすることができ、素晴らしい形で平成最後の大会を終えることができた。

令和となった今年も昨年の結果に満足せず、また同じ景色をチームで観るよう意気込み臨んでいくと出発した。

しかし、新チームとなり今年も結果が出ることに期待が膨らむ中で春先の伊勢遠征で関西の強豪日ノ本学園と対戦するも思うように結果は出ず少し焦りもあった。

また、インターハイ県予選では決勝で湘南学院に負けて準優勝となり、関東大会に出場することができず悔しい思いをした。その後も練習試合でもミスが多く、勝てた試合はあまりなかった。

昨年優勝したメンバーがいるにも関わらず上手くない。彼女たちの中でも昨年の結果に囚われず、やっていかなければ結果は出ないと感じている。だが、結果はすぐには出なかった。

でも、昨年のチームも春先の遠征でよい結果は出た。練習試合でも結果はあまり出なかった。た、インターハイ県予選は優勝し、関東予選でも全国大会に繋がる結果を得たが全国大会では1回戦負けという結果であった。

昨年との大きな違いはインターハイが県予選で終ってしまったことである。その結果を受けて本当に危機感を持って普段の学校生活や練習や練習

試合などに真剣に全力で取り組んでいるのか。全員が同じ目的や目標に向かっていくのか。現状は変化が見込める者が見込めないう。一つのミスから大ピンチを作ってしまった。なんとかが防いだが得点を奪われてもおかしくなかった。前半は1得点を奪い1-0で折り返した。ハーフタイムでやるべきことを確認し、5得点を奪い6-0で決勝リーグ進出戦を勝利することができた。

この不安定な状況で迎えたのが、冬の選手権県予選である。今年も決勝リーグ戦方式で決勝リーグ進出戦が8月24日にあった。対戦相手は横浜翠陵高等学校。前半は初戦という緊張からか選手一人一人に固さがみられ、選手各々が自分で判断して決断してプレーすることができていなかった。また、チームプレーで勝利を目指すべくところを仲間同士で、ピッチ上で声を掛け合って試合に

臨んでいない状況があった。そんな中で、星槎のパスワークはところどころ見られたがシュートが決まらず、パスワークをしているのに得点が奪えず、一つのミスから大ピンチを作ってしまった。なんとかが防いだが得点を奪われてもおかしくなかった。前半は1得点を奪い1-0で折り返した。ハーフタイムでやるべきことを確認し、5得点を奪い6-0で決勝リーグ進出戦を勝利することができた。

## 男子サッカー専攻 各カテゴリーからの 近況報告

### 高体連A

夏休みにおいて二つの成果があった。まず、一つ目は8月7日(水)〜9日(金)に行われた第26回平塚ユースカップにおいて、見事初優勝を収めたことだ。酷暑の中、苦しい場面でも一体感を持って大会に臨めたことが勝因となった。二つ目は春から行われていたK3リーグが8月4日(日)最終節を終え、8勝1分の戦績で優勝を果たしたこと。4ブロックに分かれて行われたK3リーグは各ブロックの優勝チーム同士でK2昇格戦を8月24日(土)に行った。対戦相手は横浜F・マリノスユースBとなった。何が何でも勝ちたいところだったが、1-3と勝ち切ることができず、昇格を果たすことができなかった。翌週の8月31日(土)に行われた敗者同士の同順戦は向上高等学校と対戦し、PK戦までもつれ込んだが、チーム全員の気力を振り絞り激闘を制した。(星槎国際湘南 監督 永瀬裕記)

### 高体連B

8月25日(日)に中断していたリーグ戦が再開した。ここまで3連勝ときている状況で、その勢いを落とさず勝利をしたいところであった。第4節である藤沢工科高等学校戦を9-0で勝利すると、第5節も3-0と快勝することができた。チーム

### クラブ

今年のクラブチームは公式戦年間12勝、来年度Aチームの主力選手の育成という2つの目標を掲げてスタート。現在はK4リーグと神奈川県クラブユースリーグを戦っている。先週、平日含めて3連戦があり、8月29日(木)には日本大学高等学校Bと対戦。序盤からアグレッシブさで優り、再三チャンスを作るが決めきれず0-0で前半終了。後半立ち上がりには失点するものの、その後もチャンスを作り続け、あと一歩の所まで迫るがここでも決めきれない。終了間際CKでGKを前に上げ、勝負に出るが、その力ウンターから追加点を許し0-2で敗れた。



塚ユースカップ初優勝

あつという間に夏休みの活動は終了したが、各カテゴリーでチーム、個人として成果が出たと同時に課題も明確になり濃い活動となった。3年生にとっては高校生活最後の大会である全国高校サッカー選手権大会予選に向けて、チームがより一枚岩となり、更なるチーム力を醸成していきたい。

星槎国際湘南 コーチ 三浦 丈



# 世界柔道に、星槎道都大学留学生が出場！

8月25日から9月1日までの8日間、『2019世界柔道選手権』が、東京の日本武道館で行われた。来々、2020年には同じ会場で東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される。選手にとっても、運営側にとっても、まさ

る2人の学生がいた。男子66kg級に出場したキンレイ・ツェリン選手、同じく73kg級に出場した

持ち前の真面目さと強い根性で、北海道での生活に順応していった。

2日目の66kg級、キンレイ選手の相手は北中米カリブ海の島国ハイチ代表の選手。中盤まで互いに技を出しつづつも二つずつの指導をもらうという

互角の展開であった。が、3分を経過した時、仕掛けた技を返されて、痛恨の技ありを取られた。その後、キンレイ選手は果敢に攻めたものの、試合終了間際に鼻を負傷するというアクシデントにも

見舞われ、敗退となった。3日目の73kg級に登場したタンディン・ワン

チュック選手は、当日の試合進行が延び、待たされる展開となった。柔道の試合は、一試合4分間、それで決着がつかないと『ゴールデンスコア』形式で、どちらかがポイント

を取るか相手に指導が3つ与えられるまで、時間無制限で戦う。心を整えて準備するのも勝負のうちになる。かなり待たされて登場したタンディン

選手の相手は、サウジアラビア代表の選手。試合開始直後から、激しい組み手争いが続くが、試合は徐々に相手のペースで

進んでいく。体勢を崩し倒れると、寝技や関節技が容赦なく襲う。タンディン選手も技を繰り出すも

単発で、かつ試みた巴投げが技のかけ逃げと判断されたのか、2つめの指導が与えられた。後がなくなり、必死で攻めるタンディン選手。しかし、相手選手は巧みに組み手争いを制していく。そして、終了30秒前に、無情にも3つめの指導がタンディン選手に……。

2人は、12月にネパールで行われる『南アジア競技大会』に出場予定である。そこでの活躍が、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会につながることを期待したい。

北海道の強豪である、星槎道都大学の柔道部の厳しい練習にも耐えている。その努力の積み重ねで、今大会の出場を勝ち取った。今大会は、東京の湿気、という見えな

にその前哨戦となる大会でもある。この大会に、ブータン王国から3人の選手が出場した。その中に、星槎道都大学経営学部に入学生、大学の学業と日本語の習得、そして柔道部での厳しい練習に励んでい

る2人の学生がいた。男子66kg級に出場したキンレイ・ツェリン選手、同じく73kg級に出場した

持ち前の真面目さと強い根性で、北海道での生活に順応していった。

2日目の66kg級、キンレイ選手の相手は北中米カリブ海の島国ハイチ代表の選手。中盤まで互いに技を出しつづつも二つずつの指導をもらうという

互角の展開であった。が、3分を経過した時、仕掛けた技を返されて、痛恨の技ありを取られた。その後、キンレイ選手は果敢に攻めたものの、試合終了間際に鼻を負傷するというアクシデントにも

見舞われ、敗退となった。3日目の73kg級に登場したタンディン・ワンチュック選手は、当日の試合進行が延び、待たされる展開となった。柔道の試合は、一試合4分間、それで決着がつかないと『ゴールデンスコア』形式で、どちらかがポイント

## かく、戦えり！



2人は今年の4月に大学に入学し、慣れない環境に悪戦苦闘しながらも、

北海道の強豪である、星槎道都大学の柔道部の厳しい練習にも耐えている。その努力の積み重ねで、今大会の出場を勝ち取った。今大会は、東京の湿気、という見えな

にその前哨戦となる大会でもある。この大会に、ブータン王国から3人の選手が出場した。その中に、星槎道都大学経営学部に入学生、大学の学業と日本語の習得、そして柔道部での厳しい練習に励んでい

る2人の学生がいた。男子66kg級に出場したキンレイ・ツェリン選手、同じく73kg級に出場した

持ち前の真面目さと強い根性で、北海道での生活に順応していった。

2日目の66kg級、キンレイ選手の相手は北中米カリブ海の島国ハイチ代表の選手。中盤まで互いに技を出しつづつも二つずつの指導をもらうという

互角の展開であった。が、3分を経過した時、仕掛けた技を返されて、痛恨の技ありを取られた。その後、キンレイ選手は果敢に攻めたものの、試合終了間際に鼻を負傷するというアクシデントにも

見舞われ、敗退となった。3日目の73kg級に登場したタンディン・ワンチュック選手は、当日の試合進行が延び、待たされる展開となった。柔道の試合は、一試合4分間、それで決着がつかないと『ゴールデンスコア』形式で、どちらかがポイント

を取るか相手に指導が3つ与えられるまで、時間無制限で戦う。心を整えて準備するのも勝負のうちになる。かなり待たされて登場したタンディン

## 国際審判員からみた『スポーツ』①

て世界で一般化した言葉であり、その由来はラテン語の「deportare」(デポルターレ)という単語だとされている。

デポルターレとは、「運び去る、運搬する、移動」の意。転じて、精神的な次元の移動、転換、やがて「義務からの気分転換、元気の回復」「仕事や家事といった「日々の生活から離れる」

気晴らしや遊び、楽しみ、休養といった要素を指す。つまり、これらがスポーツの本質であり、人生を楽しく、健康的で生き生きとしたものにするために、より楽しむために勝

利を追及するもよし、自分のペースで楽しむもよし、誰もが自由に身体を動かす、自由に競技し、楽しむものであると定義されている。

これらの内容を要約すると、「スポーツ」とは、場所を移動するなどの空間的な移動を伴う場合だけでなく、気持ちや気分の移動も含めて「日常生活から楽しい非日常へと移動することである」と言える。また、着目したいのは身体を動かすことだけを指すものでないということである。

審判活動を行う中で選

## ニュース速報

### アーチェリー専攻 ニダップ ドルジが初の関東選抜大会出場

令和元年度 神奈川県高体連秋季新人選手権大会が富岡アーチェリー場で行われ、星槎国際湘南のニダップ ドルジが70m部門で、290点/284点の合計574点で2位に入賞。関東選抜大会の出場が決定した。久しぶりの高体連の試合。夢の島公園アーチェリー場(東京2020オリンピックアーチェリー会場と同会場)にて行われる関東選抜大会の予選も兼ね、上位4名に入ることができれば、無条件で出場権を獲得できる。外したら終わりの一発勝負。会場は異様な緊張感で包まれていた。目標にしていた1ラウンド(36射)で300点という目標は達成することはできなかったが、2位入賞という輝かしい成績を残し、アーチェリー専攻としては初の関東選抜大会出場を決めた。

### 全国ジュニアゲートボール大会に星槎高等学校から2チーム出場

2019年8月24日(土)～25日(日)に埼玉県熊谷市の熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドームで「第24回 全国ジュニアゲートボール大会」が開催された。ジュニア男子1部(15歳以上18歳未満の男子)に星槎高等学校から神奈川県代表チームとして2チームが出場した。結果は3学年チームが1勝2敗、2学年チームは0勝3敗であった。

## 星槎教師列伝

### 10月13日と6月30日を経験した今 星槎国際湘南 教諭 島田涼史



「今度は辞めるなよ」 グローブを買ってもらいウキウキの帰り道で父親に言われた一言だ。水泳、空手、サッカーと何だかんだの理由をつけ辞めた後にファイターズが北海道へ移転、駒大苫小牧が2連覇と北海道が野球熱に包まれた。学校終わりに一緒に遊んでいた友人たちが一気に野球を始めたらから私も。だから父親に厳しく言われるのも無理はない。

生まれも育ちも北海道、札幌。3月末から湘南へ来たが予想以上に暑い。親元を初めて離れ暮らしは野球部員82名と寮生活、何もかもが新鮮だ。小学3年から野球をや

り初めてライバルと呼べる人物に出会えた。ライバルと私でピッチャーを決める時は熱かった。お互い球が速く、互いの球を捕れるのも二人だけ。そして彼は左投げ。ピッチャーになったのは彼。当の私

は、そこから約10年キャッチャー筋になった。中学では全員が高校から勧誘を受けるほど身体能力の高い選手たちが集まるチームに入る。その中には埼玉西武ライオンズで今季プロ初ホームランを放った選手もいるほどだ。北海道1強、敵なしと言われるだけの戦力が整っていても優勝は最後に行われた思い出作りの大会のみ。終わってみて考えれば団体競技にも関わらず皆が個人プレーに走り、まとまり切れなかったのが原因だったのだと振り返る。

そんな大反省を抱えて、未熟な自分を誘って下さった数校の中から創部わずか4年目の高校へ進学。これまで楽しいと思ってきた野球が一気に変わった。マシンから飛んでくる140キロのボールに対して手の感覚がなくなるまでバントをして、土上に比べ打球速度が倍





いた。いよ  
いトラッ  
ク最終種目  
チームス  
プリント！  
これまで  
のレースで  
3選手とも  
にほとんど  
限界に近い  
状態でレ

スを迎えたが、3人で協  
力して走るこの種目はお  
互いにお互いの事を考え  
次につなげる気持ちで全  
員が走りきる事ができた。  
結果5位入賞という成  
績を修める事ができた。  
狙っていた表彰台にあが  
る事はできなかったが、  
一人の力ではなくみんな  
の力でつかみ取った5位  
入賞に満足気な表情をみ  
せていた。今年果たせな  
かった表彰台に向けて早  
くも後輩たちに次のバト  
ンが渡され、来年に向け  
て始動した。今回の大会  
で一人ではできなくても  
仲間がいる事で達成でき  
るそんな経験を積む事が  
できた。今後の彼らの人  
生にとってきっと大きな  
ものになったはずだ。  
(星槎国際浜松  
センター長 下口直矢)

# 去年の悔しさから 努力をして つかみ取った 5位入賞!



三位一体のチームスプリント

## 来年も絶対 武道館へ行くぞ



野村杏百

剣道を始めたのは小6  
の夏だった。兄の影響で  
かっこいいな、と思い始め  
た。それから、少しずつ試  
合に出る回数も多くなる  
と「負けたら悔しい」とい  
う想いが強くなった。その  
後、稽古を繰り返して、勝  
回数も増え、剣道は楽し  
いと感じるようになった。

中学にあがり剣道部に  
入部した。自分がやって  
来た練習内容よりも過酷  
だったから驚いた。先生  
達も怖かった。何やって  
も怒られ、精神的にも体  
力面にも追い込まれる毎  
日だったが、その中で学  
んだのが「チーム力」だ  
という事だ。

高校生活になり、全国大会  
は夢のまた夢と思っていた  
が県大会を通して、全  
国へ進めることになった  
夢だった日本武道館！  
短時間ではあったが、福  
岡の代表メンバーと強化  
練習や強化試合が行われ  
たことでチームワークも  
出てきた。全国大会の団  
体戦では「自分だけの試  
合ではない」という気持  
ちで試合に臨んだ。一本  
とられて焦り、負けてし  
まい、悔しい思いをした。  
しかし、普段の稽古、試  
合で支えてくれた両親に  
喜んでもらうことができ  
てうれしかった。今回の  
大会では、友人や道場や  
中学校、星槎の先生方な  
ど様々な人に応援して  
もらい、貴重な経験がで  
きたので、感謝の気持ちを  
忘れないようにしたい。  
(星槎国際福岡中央  
1年 野村杏百)

## 痛みを耐えて打ち切った 会心の出小手



山川恵介(右) / 星槎国際福井の出場者と

入学してから約3か月  
間、山川恵介は剣道の授  
業や部活動で山下渉監督  
安田彩花監督の指導のも  
と稽古に取り組んできた  
が、県予選では十分に力

を發揮することが  
できず悔しさだけ  
が残った。大会後  
本人から「全国大  
会で勝ちたい」と  
申し出があり、そ  
の目は次を見据え  
た挑戦者の目だっ  
た。大会までの数  
日間、山下監督の  
得意技である「出  
小手」と「引き技」  
のみに特化して何  
度も繰り返し練習  
をした。練習で足の裏の  
皮が捲れ、痛みもあつた  
なかだった。全国大会  
当日は終始、「出小手」を  
打てるチャンスをつか  
いながらも果敢に攻めた。

初めての全国大会、初  
めの団体戦の大将、緊  
張しないはずはなかつた  
だろうが、予選リーグ2  
試合とも格上選手相手に  
会心の「出小手」を決めて  
2本勝ちをし、香川県チ  
ームの全国ベスト8に大  
きく貢献した。  
全国大会を通して、た  
くさんの自信を得ること  
ができ、また課題を見つ  
けることもできた。この  
経験を今後の部活動で  
取り組みにも活かして  
学生としての本分でも  
ある、学業や行事などへ  
の主体的な参加にもつな  
がるものと期待している。  
(星槎国際高松 山下渉)

## 2年連続入賞! 女子4×100mリレー 全国第6位



仲間の思いとともにバトンをつなぐ

3年生の佐藤李香に  
とっては陸上競技の集大  
成として臨んだ全国大会。  
100m、200m、4×  
100mリレーの3種目  
に出場した。  
宮城県大会では個人種  
目100m、200mにお  
いて向かい風、33mと  
いう悪条件の中、大会2  
冠を達成していたが、全  
国大会では残念ながら決  
勝進出を逃した。レース  
後は「去年は100mで  
全国7位だった分、周り  
からの期待も多かったし、  
応援してくれた人  
に対して負けたこ  
とが凄く申し訳な  
かったです」とコ  
メント。しかし、気  
持ちは切り替えて  
臨んだ4×100  
mリレーでは宮城  
県合同チームのメン  
バーとしてアン  
カーを務め、見事

に第6位入賞。宮城県合  
同練習会の時から、お互  
いに声をかけあい練習し  
た成果を発揮し、昨年度  
の第7位から順位を1つ  
上げての2年連続の入賞  
を勝ち取った。  
「リレーメンバーでの  
表彰式の撮影がとても楽  
しく、なにより今大会の  
一番の思い出。陸上を始  
めて6年が経ち、辛いこ  
とや楽しいこと、スラン  
プなどもあったけど、学  
んだことはたくさんあり  
ます。一番は継続する力  
と努力がすごく大事だと  
思いました。この経験を  
いかして、これからも陸  
上を続けていくつもりで  
す。」家族や指導者、友人  
など支えてくれた多くの  
人への感謝の気持ちを胸  
に、陸上への思いを新た  
にした大会であった。  
(星槎国際仙台  
センター長 千葉翔太)

## 目標達成だ!



村上由和「目標達成!!」

今回、第54回 全国高等  
学校定時制通信制陸上競  
技大会の男子100m、  
4×100mリレー、4  
×400mリレーに出場  
した。  
長い間、陸上を辞めて  
いたが、高校3年生になつ  
た時、陸上選手だったと  
いう些細な会話から話が  
広がり、担任の先生の後  
押しで、もう一度陸上を  
始めることを決意した。

練習を重ね、県大会では  
100mを2位通過、リ  
レーでは福岡県代表とし  
て全国大会に進むことが  
できた。  
全国大会では、駒沢オ  
リンピック公園の青いト  
ラックで走れることに  
興奮した。結果は、男子  
100m、4×100m  
リレーは予選敗退だった  
が、4×400mリレー  
は基礎練習(バトン)の受

順位が分かったときの  
嬉しさでこれまでの疲れ  
が吹っ飛んだと同時に、  
チームのみんな、保護者、  
先生方に感謝の気持ちで  
いっぱいだった。今後は  
この貴重な経験を、長い人  
生に活かしたいと思った。  
(星槎国際福岡東  
3年 村上由和)

人工芝のパイオニア。

株式会社 アストロ  
www.astroc corp.co.jp〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町一丁目2番2号  
TEL:03-3279-3219

オフィスの「ない」をすぐにお届け!

## たのめーる

たのめーる

大塚商会

豊富な品ぞろえのオフィス用品通販なら「たのめーる」【検索】と検索ください!

https://www.tanomail.com/

株式会社大塚商会

東京本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4

札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡

送料無料でお届け!

約110万点の品ぞろえ!

当日・翌日お届け!



IRIS CHITOSE